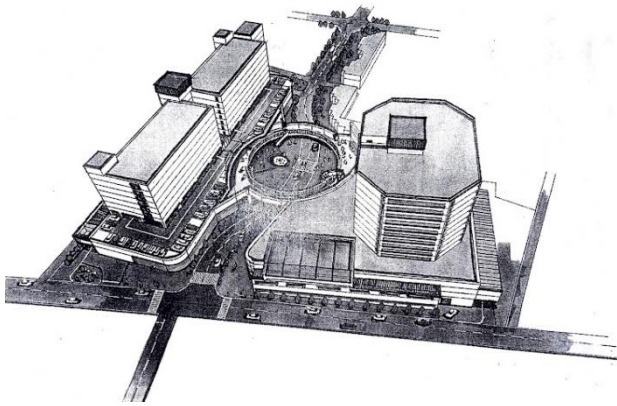


湖明館通り

明治39年金子兵助は自費でなわて 暇 通りから湖畔に至る道路を開
設し、その先に「湖明館」を建設した。これが「湖明館通り」の
由来である。

〔バブルが崩壊前に建設予定だった商業施設〕



建設費は200億円！！！！

〔湖明館通り〕

- ・昔は一方通行ではなく交互通行であった。
- ・諏訪で最初の歩行者天国が行われた道路。
- ・例年では夏祭りが行われていたが、
数年間新型コロナウイルスの影響で開催されていない。

HP: [湖明館通り](#)



〔湖明館通りで長く続く二葉薬局〕

- ・諏訪湖畔にある老舗相談薬局。
- ・湖明館通り商業協同組合—総務理事が経営されている。
- ・薬局では漢方を主に販売しており店内はいい匂いがする。

HP: [二葉薬局](#)



湖明館通りの歴史

- 明治39年 「金湖園湖明館」を建設
- 大正04年 失火により湖明館焼失
- 昭和02年 「湖明館」から「鶴遊館」に至る湖畔道路が完成
- 10年 この頃湖明館通りに商店街が形成されていった
- 13年 湖明館通り商業会が発足した
- 15年 「湖明館」廃館
- 17年 セイコーエプソンの前身大和工業が操業開始
- 24年 諏訪湖祭りが始まる
- 29年 諏訪商工会議所発足
- 32年 湖明館通り開発50年記念祭開催
- 45年 湖明館通りシールの発行が始まった
- 49年 湖明館通りで市内初の歩行者天国が開催された
- 平成18年 湖明館通り開設 100周年

—————商店街に行つての感想—————

小松煌助

まず懐かしい感じの風景が浮かび、僕は感動しました。そして、商店街に行き、詳しいお話をお聞きしました！

この商店街では1904年（明治37年）に金子兵助が買い、幅1.8メートルの道路を作ったそうです。当初は【兵助街道】と言われてましたが、1906年（明治39年）に現在の湖明館通りになったらしいです。昔からあり、今はお店がとても少ないのですが、昔はいっぱいあったそうです。

お店の方々がみんなやさしかったし、二葉薬局へ、インタビューをしたのですが、この街並み、歴史、漢方のことまでいろいろ教えてくれました。この経験はあんまりないといっても過言ではありません。僕はこのことを大切にします！

